



編集後記 「検査技師は名探偵？」

田盛 仁
(沖縄県立八重山病院 検査科)

先日家族で「見た目は…」のフレーズで有名な探偵アニメの劇場版を鑑賞した。純粋に作品を満喫したのと同時にふと、検査技師は探偵に向いているのではないかと思った。

探偵に必要なスキルをウェブで検索すると「観察力」、「推察力」「分析力」等がヒットしてくる。これらは検査技師にも必要な能力と思われる。顕微鏡を覗く際の観察力、超音波検査時の推察力、臨床化学の分析力といった具合だ。ヒットした中に「探偵適性度チェック」なるものが現れた。一応私も臨床検査技師の端くれである。結果は適性度 10%…。もはや検査技師さえも向いていないと思えるほどの低得点であった。

何かの巡りあわせか、後日たまたま付けたテレビで上記アニメ原作者の特番が放映されていた。全く知らなかったが今年で連載 30 周年との事であった。紆余曲折、過酷な環境での執筆活動でありながらも妥協せずファンのために描き続けてきたと語られていた。

「継続は力なり」とはよく言ったもので、偉大な功績は積み重ねによって生まれる。しかしこれがとても難しい。強い信念を持ってしても一人の力では成し遂げられない事もあり誰かの支えが必要である。

沖縄県臨床検査技師会誌も本号で第 60 巻。「2024 年度沖縄県医学検査学会開催に関して」の頁で述べたとおり、歴代の諸先輩方が検査の歴史を繋いできた結晶であり、第 60 巻の編集に携われた事は喜ばしい限りである。本誌に関しても、当然私一人で完成できる代物ではない。寄稿くださいました皆様、編集に携わって頂いた皆様にこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

私は検査技師として今年で 16 年目。探偵には不向きだと知ったが、残りの技師人生、患者様のために検査技術や知識を磨き続けると格好よく言えるだろうか。「真値はいつもひとつ！」。

「沖縄県臨床検査技師会誌 第 60 巻第 1 号」編集委員会

手登根稔

山城 篤

宮里泰山

山内 恵

国仲伸男

與那嶺淳

松田英世

屋宜宣直

知花 宗仙

田盛 仁 (編集長)

表紙デザイン：池田 悠

沖縄県臨床検査技師会誌 第 60 巻 第 1 号

令和 6 年 6 月 1 日 発刊

発行所 一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会
〒901-2104 沖縄県浦添市当山 2 丁目 5 番 11 号 安河アパート 103
TEL/FAX : 098-870-0702 E-mail : office@okiringi.or.jp http://www.okiringi.or.jp/
発行人 沖縄県浦添市当山 2 丁目 5 番 11 号 安河アパート 103
一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 会長 手登根 稔
印刷 〒902-0077 沖縄県那覇市長田 1-7-6
株式会社 メディアプレス
TEL : 098-996-3610